

一歩ずつ、前へ

令和8年1月13日

2026年スタート

「考動力」の向上を目指して



2026年、令和8年が始まりました。保護者の皆様には、昨年中もたいへんお世話になり、ありがとうございました。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度の3学期。3学期は、「まとめと準備」の学期となります。子どもたちが、今年度のやり残しが無いよう、そして進学準備が整うよう、日々支援していきたいと思えます。そんなまとめと準備の学期に当たり、子どもたちには「考動力を高めよう」と、始業式に話しました。「考動力」、いわゆる「考えて動く力」です。

私たちは、常に考えて行動していることは言うまでもありません。それは、子どもたちも同様です。ですが、時に「深く考えずに判断したり、行動したりする」ことがあるのも確かです。つい、自分に都合のいいように行動することもあります。



大人だって間違えることはあるのですから、子どもたちも失敗したり、間違ったりすることはありますし、そうした失敗から学ぶことができるのが学校だと思います。子どもたちに望むことは、「失敗してもつまずいても、そうした経験から学び、考えて行動できる人になってほしい」ということです。別の言い方をすると、「自律（自らを律して行動できる）」だと思います。

以前にもお伝えしましたが、現在群馬県の学校教育では「自律した学習者」の育成を目指しています。いずれ社会の担い手となる子どもたちが、学校での学びや体験を通して、「自律」することの大切さを実感できるようにしたいと考えます。

ご家庭でも、「考動力」の向上に向け、「落ち着いて考え、判断し、行動する」言葉かけをしていただきますようお願いいたします！

改めて「防災」について考える



2026年が始まり数日が経ちましたが、東北や九州地方、島根県や千葉県など、各地で大きな地震が起きています。群馬県や館林市で大きな災害がないことを願うばかりですが、災害はいつ起きるか分からないだけに非常に心配です。学校では、昨年度に引き続き、地震の避難訓練や各学年での防災に係る学習を行っています。令和7年12月23日には、4年生が講師を招いての「防災学習」を行いました。子どもたちも、あらためて日頃から備えておくことの大切を学んだことと思います。



館林市の小中学校では、「震度5強以上の地震が発生した場合、児童生徒は学校待機とし、保護者の迎えにより下校する」とし、安全を確保することとなっています。引き渡し訓練も実施していますが、本当に災害が起きた時に慎重に行動できるかどうかは、日頃からの備えと心構えによると思います。子どもたちはもちろんのこと、ご家庭の安全安心のためにも、「防災」に係る備えや避難などについて、改めてご確認いただければと思います。

よろしくお願いいたします。



防災袋（防災グッズ）